

『RIETIウェブサイト日英翻訳業務』公募要領

平成30年2月

独立行政法人 経済産業研究所

『RIETIウェブサイト日英翻訳業務』の公募について

独立行政法人 経済産業研究所は、研究活動および研究成果普及を目的として、ウェブサイトを運営しております。今般、経済産業研究所ではウェブサイト用に翻訳業務（英訳・和訳）を公募いたします。

1. 事業の背景及び目的

独立行政法人 経済産業研究所（以下、RIETI）は、研究成果・活動等を海外に発信する目的で英文翻訳し、ウェブサイトに掲載しています。また、国内における政策議論の活性化の一助とする目的で、海外の専門家による最新の政策分析等を和文翻訳し、日本語サイトにて紹介しています。

2. 事業内容

(1) 以下に示すコンテンツ翻訳業務

翻訳種別	コンテンツ内訳
和文英訳	コラム
	「実事求是」コラム
	新聞雑誌等への寄稿
英文和訳	「世界の視点から」コラム

（注：年間あたりの予定翻訳コンテンツ数。ただし、見込みであり、必ずしもこれらの発注を保証するものではない。また、契約後の納品物が公募選定時の水準に達していないと当研究所が判断した場合、改善を要求することがあり、その改善要求に応じて改善されないと当研究所が判断した場合、契約期間内であっても発注を終了する場合があります。）

(2) 翻訳範囲：本文および本文中の図表の文言など、指定するすべての箇所（翻訳不要箇所については事前に指定する）。

3. 契約条件

(1) 契約形態

請負契約とします。

(2) 採択件数

3社程度

(3) 予算規模

和文英訳は日本語1文字あたり20円（消費税別）、英文和訳は1英単語（1 word）あたり30円（消費税別）を上限とし、申請内容等を経済産業研究所と調整の上、契約金額を決定します。

(4) 事業実施期間

契約締結日から平成31年3月31日までの期間

(5) 成果物の納入

電子媒体にて当研究所の担当編集者に納入。

（通常発注者が指定するメールアドレスへE-mailにより送付）

標準納期

3ページまで・・・2日

5ページまで・・・4日

10ページまで・・・5日

15ページまで・・・7日

※16ページ以上は、5ページにつき1日追加するものとする。1ページ以下は切り上げて1ページとしてカウントする。

※標準納期は発注時の枚数でカウントする。和文英訳は1ページ原文日本語400文字として、英文和訳は1ページ英語200ワードとしてカウントする。

※日数は発注日の翌日からカウントし、納品日は標準納期にカウントしない。（土日休日は含まない）

(6) 翻訳者のスキル

政治経済・金融・IT・通商・経済学、その他一般分野の内容について文脈を十分に理解した上で翻訳できること、もしくは翻訳のための協力体制があること（翻訳者の実務翻訳歴が5年以上であることが望ましい）。この作業においては、学術論文等を調査する能力が必要とされる。契約期間を通して翻訳の質を維持できるよう、公募応募の際と同等レベルの翻訳者が翻訳にあたること。

(7) 翻訳の仕様

①ページ設定はA4とする。

②文字カウントは翻訳前の文字数（単語数）で行う。

③レイアウトは不要〔簡単なレイアウト（表組み・フォントの統一等）は翻訳料金に含むものとする〕

④図表の翻訳は作図不要（文言のみ訳出）。

（8）翻訳作業の体制

①翻訳を行う者及び翻訳をチェックする者を翻訳担当者とし、最低2名の翻訳担当者を置くこと。また、最低1名はネイティブ（※1）を置くこと。

②翻訳したものについては必ずネイティブチェックを行うこと。ネイティブが翻訳をした場合、別の翻訳担当者がチェックを行うこと。

（※1 ネイティブとは仕上がり言語を母国語とする者を指す。）

4. 応募要件

今回の公募に対する提案者は、次の要件を備えている必要があります。

（1） 企業、民間団体等、本事業に関する請負契約を経済産業研究所との間で直接締結等できる団体であること。

（2） 自社以外の企業、民間団体、政府官公庁等からの、翻訳業務を請け負った実績を十分に有し、これを証明できること。組織が、過去3年間に経済学関係論文に関する和文英訳・英文和訳の実績があるか証明すること。

（3） 当該事業の遂行に必要な関連知識、及び十分なプロジェクト管理能力、課題解決能力、調整能力を有し、これを証明できること。

（4） 標準納期を守れること。

（5） 予算規模の上限価格内におさまっていること。

（6） 当研究所から提示された請負契約書に合意すること。

5. 公募申請書の様式

（1） 公募申請書の記載は、別紙の様式に基づいてください。

（2） 公募申請書は、日本語で作成してください。用紙サイズはA4版縦置き、横書きを基本とします。

6. 公募申請書の提出部数

- (1) 公募申請書の提出部数は、正1部、写2部とします。
- (2) 公募申請書の提出時に「公募申請書受理票」1部を併せて提出してください。

7. 添付資料

公募申請書には、次の資料又はこれに準ずるものを添付してください。

- (1) 会社経歴書 1部
- (2) 最近の事業報告書（1年分） 1部
- (3) 公募申請書は、日本語で作成してください。（提案者が外国企業等であって、公募申請書を日本語以外の言語で作成し、日本語に翻訳したものである場合は、参考としてその原文の写1部を添付してください。）

8. 公募申請書およびサンプル翻訳原稿の提出締切日及び提出先

- (1) 提出締切日：公募申請書 平成30年3月1日（木）。サンプル翻訳 平成30年3月1日（木）
- (2) 提出先：独立行政法人 経済産業研究所 ウェブ編集担当
「RIETIウェブサイト日英翻訳業務担当」
〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目四番二号 大同生命霞ヶ関ビル 6F
- (3) 提出方法：公募申請書は持参または郵送してください。サンプル翻訳は電子メールでも提出可とします。

9. 公募申請書の受理

- (1) 応募要件等を満たさない者の公募申請書、又は不備がある公募申請書は、受理いたしません。
- (2) 提出された公募申請書を受理した場合は、公募申請書受理票にて提案者に通知いたします。
- (3) 受理した公募申請書は、返却できませんので予めご了承ください。

10. 秘密の保持

公募申請書、その他の書類は、当該事業の請負先の選定のためにだけ使用します。

11. 請負先の選定

請負先の選定は、公募申請書及び添付参考資料、当研究所が必要に応じ別途行うヒアリング等をもとに行います。請負先を選定する際の選考基準は、主に以下のとおり。得点は総合評価点の計算によって得られた数値の高い者を3社程度落札者とします。総合評価点は、提案書に係る評価点(技術点)と入札価格に係る評価点(価格点)から成り、技術点と価格点の配点は2:1とします。詳細は別紙評価手順書を参照してください。

選考基準

- (1) 日英双方での経済学分野の翻訳業務での実績を有していること。
- (2) 当該事業を行う体制が整っていること。
- (3) 請負業務管理上、当研究所の必要とする措置を適切に遂行出来る体制を有すること。
- (4) サンプル翻訳については、翻訳の質(文脈を正しく読み取り、調査した上で翻訳されたものかどうか)、文章の分かりやすさ、専門用語の用法の正確さをもとに評価します。

12. 結果通知

サンプル翻訳提出期限後、2週間を目途に提案内容およびサンプル翻訳の審査を行い、速やかに採択結果を通知します。ただし、応募者が多数な場合、2週間以上の時間を要することがあります。さらに、経済産業研究所のホームページに採択結果を掲載します。なお、審査結果等の照会には応じません。

13. その他

- (1) 請負先選定に係る審査は、受理した公募申請書及びサンプル翻訳に基づいて行いますが、必要に応じてヒアリングや追加資料の提出等を求める場合があります。
- (2) 受理した追加資料及び添付資料等は返却できませんので予めご了承ください。
- (3) 公募申請書等の作成費は経費に含まれません。また、選定の成否を問わず、公募申請書の作成費用は支給されません。

14. 問い合わせ

本件に関する問い合わせは日本語で下記のE-mail又はFAXにて受け付けま

す。電話や来訪等によるお問い合わせは受付できません。お問い合わせの際は、件名（題名）を必ず「RIETIウェブサイト日英翻訳業務問い合わせ」としてください。

独立行政法人 経済産業研究所 ウェブ編集担当

「RIETIウェブサイト日英翻訳業務担当」

FAX: 03-5510-3926

E-mail: web-group@rieti.go.jp

評価手順書

1. 落札方式及び得点方式

(1) 落札方式

次の要件を満たしている者のうち、「(2)総合評価点の計算」によって得られた数値の高い者を3社程度落札者とする。

- ① 価格が予定価格の範囲内であること。
- ② 「評価項目一覧」に記載されている要件の内、必須とされた項目を、全て満たしていること。
- ③ 本事業の目的・内容について十分に理解していること。
- ④ 当該業務を行うのに十分な実施体制を整えていること。
- ⑤ 和文英訳および英文和訳の実績があること。

(2) 総合評価点の計算

得点は、提案書に係る評価点（技術点）と入札価格に係る評価点（価格点）から成り、技術点と価格点の配点は2：1とする。本調査における得点配分を以下に示す。

技術点の得点配分	280 点
価格点の得点配分	140 点
合計	420 点

2. 技術点の評価の手続き

(1) 「必須」項目の評価

「必須」項目については、評価基準を満たしているかどうか評価を行い、評価基準を満たしていると評価された場合は配点の点数が与えられ、評価基準を満たしていない、あるいは提案書中に該当する記述が認められないと評価された場合は0点となる。「必須」とされた項目のいずれかにおいて評価基準をみださず0点と成った場合、その応募者は失格とする。

(2) 「任意」項目の評価

「任意」項目については、それぞれの評価について、評価基準に基づいて以下の「S」、「A」、「B」、「C」及び「S」、「A」、「B」、「C」、「D」の4段階評価及び5段階評価を行う。なお、複数の評価者が評価を行うため、評価項目ごとに各評価者の評価結果を平均して技術点を算出する。小数点以下は切り捨てとする。

組織・体制

評価基準	評価ランク	基礎	加点
通常の想定を超える卓越した提案内容である。	S	5	25
通常想定される提案としては最適な内容である。	A	-	20
概ね妥当な内容である。	B	-	10
内容が不十分である。	C	0	0

翻訳の質

評価基準	評価ランク(翻訳)	加点
卓越した翻訳である。	S	45~50
最適な翻訳である。	A	30
概ね妥当な翻訳である。	B	20
やや不十分な翻訳である。	C	10
不十分な翻訳である。	D	0

評価項目一覧

評価項目	項番	評価区分	評価基準	配点					備考
経理的基盤	1	必須	業務を確実に遂行できるだけの経理的基盤を有しているか。	5					
組織・体制	2	必須	業務を確実に遂行するための人員を確保しているか。	5					
	3	必須	業務体制において、作業分担・責任体制は明確となっているか。第三者に委託等を行う場合は、責任体制・業務範囲等が明確化されているか。	5					
	4	必須	業務の遂行を迅速かつ円滑に行うための、連絡体制と対応方法が明確か。	5					
	5	必須	業務遂行中に、計画変更等が生じた場合、柔軟に対応できる体制と対応が明確か。	5					
	6	任意	仕様書に記載されている標準納期を行うための翻訳者の確保・バックアップ等、実施体制に配慮したものとなっているか。	0~25					
	7	任意	翻訳の質を確保するために効果的なチェック体制、手順などが具体的に示されているか。	0~25					
	8	任意	翻訳者は、経済学の学士号を取得している等経済学の知見を有しているか。また、経済学に関する和文英訳・英文和訳の経験を有する等日本語、英語双方において経済の専門用語を理解していると判断できる経歴を有しているか。	0~25					
組織の実績	9	必須	組織が、過去3年間に経済学関係論文に関する和文英訳・英文和訳の実績があるか。	5					
翻訳の質	10	任意	内容が正確で論理矛盾がないか(内容の理解力)	0~50					
	11	任意	適格な専門用語を適切に使用しているか(内容の理解力)	0~45					
	12	任意	原文の読み違いがないか(言語力)	0~30					
	13	任意	洗練された表現の訳文になっているか(言語力)	0~30					
	14	任意	誤字脱字、ケアレスミスがないか(完成度)	0~20					
合計点				280点					